

小学生オンライン交流会 報告書

1 目的

青梅市の将来を担う子どもたちが、それぞれのテーマについて他校との意見交換・交流を通じて、市政運営に対し、興味・関心をもってもらうとともに、子どもたちの声を市政運営に反映させることを目的として開催する。

2 日時

令和6年7月22日（月）

午前9時30分から午前11時30分まで

3 会場

各学校間と市役所で実施（オンライン開催）

4 参加児童

小学校16校（東小学校除く） 65名

5 実施概要

(1) 当日スケジュール

第一部

9:30	開会	2分
9:32	説明・注意事項	3分
9:35	グループごとに意見交換	40分
10:15	休憩	10分
10:25	発表（各グループ3分以内）	30分
10:55	市長・教育長講評	5分
11:00	閉会	2分

第二部

11:05～11:20	交流会（感想・意見交換）	15分
11:20～11:30	市長への質問タイム	10分

(2) 当日の役割分担

全体司会…第七小学校

開会挨拶…新町小学校

閉会挨拶…今井小学校

グループリーダー・発表…「7テーマ」の網掛けの学校

6 オンライン交流会で話し合う内容

(1) 「7テーマ」のグループごとに、各校2名ずつに分かれる。

(2) 事前に各校で話し合ってきたワークシートをもとに意見交換を行う。

(3) グループで話し合ったことを3分間で発表する。

7 テーマ

テーマ		小学校
「みんなが通いやすい、より良い学校にするために」	グループ A	第三小、河辺小、友田小、若草小
	グループ B	第一小、第六小、霞台小、吹上小
	グループ C	第四小、第五小、第七小、新町小
	グループ D	第二小、成木小、今井小、藤橋小
「青梅市の豊かな自然や緑を未来につなぐためには」	グループ E	第四小、第六小、若草小、藤橋小
	グループ F	第三小、第五小、成木小、霞台小
	グループ G	第一小、第二小、第七小、河辺小
	グループ H	新町小、友田小、今井小、吹上小

8 発表内容

(1) 「みんなが通いやすい、より良い学校にするために」

ア グループ A

グループ A では、より良い学校にするために話し合いをしました。そこで出た意見は、学年関係なくたくさんイベントを行ったり、みんなが行きやすい安心・安全な教室環境にする。また、誰にでもやさしく暴言・暴力がない学校や思いやりのある清潔な学校などの意見が出ました。青梅市には校舎の点検・修繕を行ってほしいなどの意見が出ました。

イ グループ B

みんなが通える、理解しあえる、楽しい笑顔になれる学校を増やす。そのために誰にでも平等に接する、お互いのことを知る授業をする、いじめについて考える時間、相談できる

時間、いじめ内容を動画にする、いじめゼロにするために上の学年が下の学年にいじめをしないことを教える、集会でいじめゼロの発表をする。市にやってもらうことは見回りをしてほしい、特別授業をしてほしい、自立のために声を掛け合いたい、などです。

安心して授業ができる、つらい思いを誰もしない学校を目指す、ほかの学年の人ともコミュニケーションを大事にする、ありがとうを6年生が言う。市にやってほしいことは相談ができる場所をつくる、曜日を決めて遊べる遊具をつくる。

みんなで仲良くいじめがない安全な学校を目指す。そのために廊下を歩く、トイレの入口などにカーブミラーをつける、右側通行の矢印を目立たせる、走っている人がいたらみんなで注意する、1年生に教えてあげる、です。

ウ グループC

ぼくたちのグループでは、一人ひとりの個性を大切にしていけることが、みんなが仲良く通いやすい学校につながっていくと考えました。なぜなら一人ひとりの個性を大切にするといじめがなくなったり少なくなったりすると思うからです。また、挨拶や感謝の言葉を相手に伝えたり広めたりしていくことも大切だと考えました。なぜなら挨拶や感謝の言葉が広がっていくと明るい学校になると考えたからです。そのためにぼくたちこどもはポスターでこのことを広めたり6年生が中心となって、明るい学校づくりに取り組んだりしていくことが大切だと思います。市にはみんなで交流ができる場所をつくったりぼくたちのサポートをしたりしてほしいと思います。

エ グループD

ぼくたちのグループでは、こどもたちが自ら気持ちの良い挨拶をしたり言葉づかいをやさしくしたりすることで他学年と仲を深めることができ、みんなが通いやすいより良い学校になるのではないかという意見が出ました。

(2) 「青梅市の豊かな自然や緑を未来につなぐためには」

ア グループ E

グループ E では、ポイ捨てをしないためにごみ箱の設置やポスターの設置などと、外来種を駆除したいというところで、住民に呼びかけたいというものと、青梅市の緑や自然を体験するようなツアーをつくるために移住者の呼び込みなどをするという意見が出ました。

イ グループ F

グループ F では、青梅市の自然をより豊かにし守っていくために、環境を汚染するごみを継続的に拾っていくのが大切だと考えました。そこで、汚いイメージのあるごみ拾いをゲーム感覚で勝敗をつけてしていくとより参加する人が増えて大切だと思いました。そして、回収したごみをリサイクルし新たな資源としていくのがごみをこれ以上増やさないためにも大切だと思いました。

ウ グループ G

青梅市には木や森、猪や虫などさまざまな生き物がいる豊かな自然がたくさんあります。これらを未来につなぐための取組として、こどもたちが生き物のことを学んでいくこと、それをたくさんの人に伝えて、観光客の人にたくさん来てもらうこと。自然を守るために、まず自分自身が自然を好きになること、二酸化炭素を減らすためにフードロスをなくすことが大切だという意見が出ました。どの取組にも共通しているのは一人ひとりが考えて行動し、自然を守ろうとすることだと考えます。また、青梅市へのお願いとして間伐材でアスレチックをつくったり、森林体験で自然を学んだりできる取組を行ったり、梅フェスタを開いて青梅の自然の魅力をたくさんの人に伝えて観光客をさらに増やせたらいいと思います。ぜひお願いします。

エ グループ H

グループ H では、水がきれいになる、自然を見るとリラックスできるなどの意見が出ました。市にお願いしたいことが3つあります。1点目は自然を紹介したり青梅の文化を知る

ことができる施設を建ててほしいです。2点目は、川でバーベキューなどをする観光客がルールを守れる看板などをつくってほしいです。3点目は不要な木や雑草を切ってほしいです。自分たちでできることはごみ拾い、ポイ捨てをしないなどを呼びかける、自然を大切にするなどの意見が出ました。

9 学校アンケート

(1) アンケート回収状況

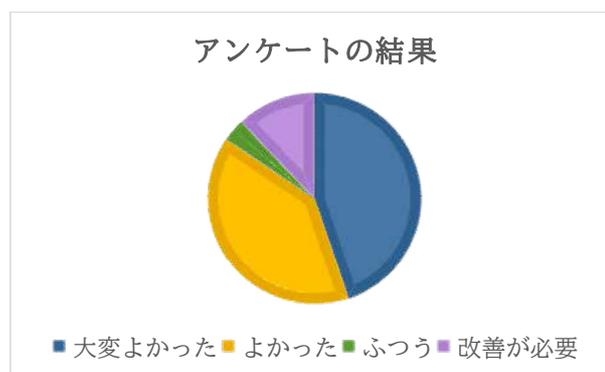
【全体】56名

大変よかった…26名

よかった…23名

ふつう…2名

改善が必要…7名



(2) 「小学生オンライン交流会」における各小学校からのテーマ発表について（自由記述）

ア 児童

- ・このような体験をできることをうれしく思います。色々な意見があり、勉強になりました。
- ・みなさんの意見がとても良かったです。私は、これからも青梅のために頑張りたいと思います。
- ・様々な学校の課題や良いところを聞いて楽しかったです。自分の学校にあって、他校にはないものを聞いて良かった。自分の意見と似ているなどのリアクションをとってくれて嬉しかったです。
- ・他の学校の人と話したりできて、楽しかったです。もっと青梅について学びたいと思います。
- ・自分たちの意見と似ているところがたくさんあったし、似ていなくても、その案いいなと思えるものがたくさんあって楽しかった。
- ・意見を発表するよりも、意見を共有し、よりよいものとする時間がない。

イ 学校関係者

- ・他校と交流を図ることで意見の広がりや新しい考え方を見

童が経験することができた。

- ・ 児童の発表については大変良かったと思う。テーマについては、青梅の自然に対しての課題が分かりづらい。何を論点にして話せばよいか難しく、市への要望もゴミ拾いが中心になってしまった。

(3) 全体を通しての意見・感想

ア 児童

- ・ このような交流会があることで、青梅が良くなっていくので、このような交流会をもっと増やしてほしいです。
- ・ さまざまな意見交流ができたし、これからの青梅についてみんなで話し合うことができよかったです。初めて会う人たちばかりだったけれど、とても楽しく考えることができました。
- ・ この交流会をとおして、少しでも学校や青梅市が変わるといいなと思った。これからも続けていったらいいと思った。すごく楽しかった。
- ・ こんな機会はめったにないので、今回参加できてよかった。意見を市長がしっかりと受け止めてくれたので、実現してほしいなと思う。児童会で解決できることは、私たちが取り組んでいきたい。
- ・ いろいろな学校の生徒と一緒に考えられて、とても楽しかったし、すごく勉強になりました。これからもいい学校をつくっていくために、ここで出た考えを生かしていきたいです。

イ 学校関係者

- ・ 児童から対面での実施が良いという意見もあった。登下校時の熱中症対策も心配な面があるため、時期の検討も必要ではないかと感じた。「楽しかった！」が多く聞こえた。ありがとうございました。
- ・ 第2部で各校の子供たちが自分の考えを伝え合う場が良いと思いました。自分の言葉で、考えをやりとりできる場面がよかったです。